







2022 / 秋期号

TEL 083-902-6630

FAX 083-902-6664 E-mail:

swc-us@wit.ocn.ne.jp



改めて気付かされた最近の出来事!

秋も深まり肌寒くなって参りました。皆様におかれましては益々ご清栄のことと喜び申し上げま す。また当放課後等デイサービスに付きましては沢山のご高配を頂き感謝を申し上げます。

私事ですが、9月に転倒で右肩を脱臼してしまいました。一瞬の出来事で自分の右手の状況が理 解できませんでしたが病院に運ばれ整復術のお陰でその日に帰ることができました。もともとポリ オウイルスによる脊髄炎症の後遺症で足腰が悪く、左手1本しか使えなくなるといきなり QOL が低 下してしまいます。翌日は何が出来て何が出来ないかを理解する事から始まり、2日目は工夫すれ ば自分で出来ることを少しずつ発見し、時間がかかっても自分で出来ることの喜びを改めて気付か されました。出来ないことは家族の手を煩わすことになりますが、支援をもらうことで次の行動に 繋がるので感謝の気持ちです。私たちの仕事はその人の出来ない事、困っている事を支援すること ですが、改めて利用者のQOL向上のための支援の大切さを考えさせられました。

不自由の中、4日目にはタイミング悪くサービス管理責任者(児童発達管理責任者)更新研修を受講 することになっており、日程変更も難しく受講いたしました。更新研修は近年始まった制度であり、 15年ぶりの研修会となりました。法人内では若い職員たちもサービス管理責任者を受講している 者も増え、年寄りの私が今さら更新しなくてもとの思いもありましたが、万が一職員たちが怪我や 病気、或いはアクシデントで休業しなければならなくなった時のピンチヒッターとなれるように受 講いたしました。県内から60名が受講し6名ごとのグループワークでの発表や意見交換など他事 業所の取り組みや工夫などが交換でき有意義な1日を過ごす事ができました。学べるところはしっ かり取り入れ、より良い支援に繋がればと思います。子ども達が将来自立し、社会で生活していくチ カラを育むために様々なプログラムを取り入れ支援の幅を広げていきたいと思います。

当たり前が当たり前に出来る社会を目指しながら進んでいきたいと考えます。

引き続き宜しくご支援ご協力をお願い致します。



なかぞのフォア・アス



本年度は助成金で作成した、テーブルと椅子を活用して子どもたちが過ごしています。コロナ騒動も変わらず心配はありますが、夏休みには3年ぶりに身障者センターのプールに行って大はしゃぎでした。職員と一緒に調理に参加して焼きそばを作ったりしました。美味しさがさらに UP しました。昨年に続き近くの噴水浴びや、庭に設置したプールは暑い夏には人気でした。

秋になり学校から帰ってくると賑やかな声が広がります。最近はダンスをして体を動かす子もいて、 エネルギーを発散しています。

子どもたち一人ひとりが、それぞれのペースで成長していけるように安全な環境作りと多くの人と関 り楽しく経験を重ねていけるよう、これからも日々支援していきます。

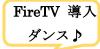
<広間の様子 ~お勉強・タフレット・ダンスタイム~>













< 夏休み ~活動の様子~ >















美東道の駅







狐の足跡 ~足湯~

なかぞのフォア・アス 職員紹介

管理者 岩村 智子 児童指導員 藤本 直子 心理士 藤田晋太郎 児童指導員 村田 裕子 中村 堅一 三木 智穂 保育士 生活指導員 児童発達管理責任者 小掠 聖乃 児童指導員 高津 箾 緒方 彩奈 生活指導員 國村 明美 児童指導員 阿武 洋子 牛活指導員 本多 洋子 児童指導員

他 アルバイトの学生さん3名

なかぞのフォァ・アスホームページの QR コードです。日々の活動や行事の 飾りなどを更新しているので、ぜひ見 に来てくださいね♪





よろしくお願いします!



おおいちフォア・アス 巻



おおいちフォァ・アスは7年目の秋を迎えました。新しく利用が始まった子どもたちはフォァ・アスでの活 動に慣れ、元気いっぱい活動されています。また、継続して利用している子どもたちは学年が上がり、環境の 変化に戸惑いながらも頑張っている様子がうかがえます。

今年の夏休みはコロナ第7波の真っ只中、しかも猛暑の影響もあり、予定していた行事が変更になることも ありましたが、大内塗の箸作り体験や外郎作り見学、新山口駅見学など新しい活動も取り入れつつ、恒例のプ ールやクッキング、縁日なども行い、無事に終えることができました。泳ぎが上手な子、デッサンが得意な子、 縁日のお店屋さんが上手にできた子、スーパーボールを沢山すくえた子、苦手なものが食べられた子など、職 員にとっては子どもたちの新たな発見ができた夏休みになりました。

長い長いコロナのトンネルの先に少し光が見え始め、今まで通りの生活に戻りつつあります。子どもたちは 今まで経験出来なかったことができる反面、不安に感じたり、時にはうまくいかないこともあると思います。 そういう場面ではしっかりと寄り添い、子どもたちが自信をもっていろいろな活動ができるようにしていきた



















おおいちフォァ・アス 職員紹介

管理者 宮崎美和 保育士 岸本朱音 児童指導員 佐伯直美 保育士 元永瑞穂 児童指導員 原田玲子 児童指導員 田嶋香織

児童指導員 片岡恭子 中村信也 児童指導員 指導員 青原亜衣 アルバイトの学生さん 10名

(令和4年10月1日現在)



Ø⑥☆・º Q◎次・0Ø⑥☆ みらいフォア・アス 次・0Ø⑥☆・° Q◎次・0

みらいフォア・アスが開所して6年目の秋を迎えました。夏休み頃にはこれまで以上の新型コロナの波が到 来しましたが、子どもたちはそれに負けないくらいの元気さで日々を過ごしています。夏休みには身障セン タープールなどの屋外活動、おおいちとの合同ミニ縁日など、いろいろな活動を経験し、楽しんでいました。

だんだんと寒くなり、また、現場実習や文化祭などいろいろな行事ごとも重なって心身ともに調子が崩れ やすい時期です。子どもたちの様子をしっかり把握しつつ、子どもたちにとって安心安全に過ごせる場所と なるよう、これからも職員一同努めていきたいと思います。



















中原中也です









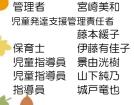












児童指導員 木山成芳 河崎佳子 児童指導員 指導員 水本貴恵 アルバイトの学生さん 6名

(令和4年10月1日現在)



